

Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度	2025年度	開講キャンパス		宮崎キャンパス		開設学科	国際教養学科		
科目名称	文章表現の基礎Ⅱ					授業形態	演習		
科目コード	590128	単位数	2単位	配当学年	1	実務経験担当教員		Active・L	○
担当教員名	田中 利砂子							ICT活用	○
授業概要	<p>文章表現力は、大学においてはもちろん、社会に出てからも重要視される。そこで、文章表現の基礎Ⅱでは、アカデミック・ジャパニーズ養成の一環としてレポートの作成方法を取り上げ、前期開講科目の文章表現の基礎Ⅰに引き続き、大学生および社会人に求められる日本語表現技術の習得を目指す。また、社会人になるためには「社会人基礎力」（「前に踏み出す力」「考え抜く力」「チームで働く力」）の習得も不可欠である。よって、授業内外における活動を通じ、主体性・深く考える力・チームで協力する姿勢・プレゼンテーション力のさらなる向上を図る。</p>								
関連する科目	文章表現の基礎Ⅰ								
授業の方法と進め方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前課題による予習に基づいて授業を進める。</li> <li>・毎回の授業の一部にグループワークを取り入れる。</li> <li>・グループワークで話し合いをし、その内容について発表する。</li> <li>・必要に応じて、課題提出やフィードバック等にUniversal Passportのクラスプロファイルを使用する。</li> </ul>								
第1回	授業の説明、14課前半 レポートとは何かを知る レポートとはどのようなものかを知る。								
第2回	14課後半 レポートとは何かを知る 事実と意見の書き分け、説得力がある文章を書くための表現や構成、レポートの基本的な書式を学ぶ。								
第3回	15課前半 テーマを絞りこみ、資料を探す レポートのテーマを決める際の注意点を知る。								
第4回	15課後半 テーマを絞りこみ、資料を探す レポートを書くために必要な資料収集の方法を学ぶ。								
第5回	16課前半 論拠を示す 論拠とは何かを学ぶ。								
第6回	16課後半 論拠を示す データ、解釈、意見の関係性を理解し、適切な論拠を示す方法を学ぶ。								
第7回	17課前半 文献から引用する レポートを書く際、主張の論拠を示すために欠かせない引用について学ぶ。								
第8回	17課後半 文献から引用する 引用の決まりを知り、基本的な方法を理解する。								
第9回	18課 アンケート調査をする 数量・数値のデータを得るためのアンケート調査について、手順やふさわしい表現を学ぶ。								
第10回	19課前半 図表を利用する 図表利用の際の注意点と適切な表現を学ぶ。								
第11回	19課後半 図表を利用する 図表を有効に利用する方法を学ぶ。								
第12回	20課前半 プレゼンテーションで内容を見直す レジュメの基本を知る。								
第13回	20課後半 プレゼンテーションで内容を見直す スライドの基本とプレゼンテーションの方法について知る。								
第14回	21課 レポートを仕上げるータイトル・推敲ー レポートの仕上げとしてしなければならないことについて学ぶ。								
第15回	22課 自分を表現するー自己PR発展編ー 就職活動における自己PRについての理解を深め、わかりやすく魅力的で、評価につながる自己PRの書き方を学ぶ。								
授業の達成目標	<p>① 客観的な文章が書けるようになる。【汎用的技能】                  ② 人の意見を聞く姿勢や自分の考えを人に説明する能力が身につく。【態度・志向性】                  ③ 論理的に思考することができる。【汎用的技能】</p>								

学修成果との関連	2.自分の言葉で表現できる能力を有する。
授業時間外学習【予習】	使用教材の該当課を事前に読んで予習しておくこと。事前課題がある場合は、確実に遂行すること。(2時間程度)
授業時間外学【復習】	授業で学んだ内容を振り返り、要点を整理しておくこと。事後課題がある場合は、確実に遂行すること。(2時間程度)
課題に対するフィードバック	課題のフィードバックは、授業時に適宜行う。必要に応じてUniversal Passportのクラスプロフィールも使用する。
評価方法・基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・積極的な授業態度：20点</li> <li>・課題：30点</li> <li>・最終課題：50点</li> </ul>
テキスト	野田春美ほか（2016）『グループワークで日本語表現アップ』ひつじ書房
参考書	石黒 圭（2012）『この1冊できちんと書ける！論文・レポートの基本』日本実業出版社
備考	特になし。